

天気予報に関するアンケート調査結果の概要

【天気予報全般に対する満足度、信頼度】

天気予報全般に対する信頼度は、郵送・WEB 調査ともに高く、「信頼している」「まあ信頼している」の合計が90%に達した。また、満足度も高く、「満足」「まあ満足」の合計も郵送調査で89%、WEB 調査で76%に達した。ただし、「まあ信頼している」及び「まあ満足」がほとんどを占めており、積極的に「信頼」「満足」している人は少ない。これらの傾向は、前回調査と変わらない。

【予報の利用率】

「よく利用する」「時々利用する」の合計で見た場合、利用率が高い順に、「今日・明日・明後日の天気予報（93%）」「週間予報（92%）」「時系列予報（73%）」「天気分布予報（60%）」「1か月予報（46%）」「暖・寒候期予報（41%）」「3か月予報（36%）」であった（%は郵送調査のもの）。

【予報の入手媒体】

郵送調査では、どの種類の予報も「テレビ」「新聞」からの入手が圧倒的であるが、3位では「ラジオ」と「民間インターネット」が拮抗している。

WEB 調査では、「気象庁ホームページ」と「テレビ」が圧倒的で、「民間インターネット」の利用率も高い。

「今日・明日・明後日の予報」「週間天気予報」の場合、インターネットの利用は増加傾向にある反面、「電話（177）」の利用は減少傾向にある。

【各予報の重視度と満足度】

各予報の重視度と満足度の評価点^(注)は以下のとおりである。

予報の種類	郵送調査		WEB調査	
	重視度	満足度	重視度	満足度
今日・明日・明後日の予報（天気）	88.9	70.9	90.2	64.6
週間予報（天気）	84.8	66.7	86.8	58.9
今日・明日・明後日の予報（降水確率）	82.2	64.3	78.6	54.8
週間予報（降水確率）	78.4	63.3	72.5	52.2
今日・明日・明後日の予報（気温）	76.1	73.8	76.0	67.6
週間予報（気温）	72.1	68.6	73.7	60.1
時系列予報	71.0	66.0	75.7	62.0
天気分布予報	67.0	67.0	68.6	60.7
週間予報（信頼度情報）	53.6	56.8	56.8	48.3
今日・明日・明後日の予報（風向風速）	46.2	67.3	47.6	62.2
今日・明日・明後日の予報（波浪）	23.9	66.5	23.9	62.3
1か月予報		64.3		56.1
3か月予報		57.6		46.7
暖・寒候期予報		57.6		45.1

(注) 評価点：重視度、満足度を100点満点で測るために、「重視する（満足）」「やや重視する（まあ満足）」「あまり重視しない（やや不満足）」「重視しない（不満足）」のそれぞれの回答に100、67、33、0点の重み点を与えて、全体を平均した値。

今日・明日・明後日の天気予報

「天気」と「降水確率」の予報の重視度は、評価点が郵送調査で 89 点及び 82 点、WEB 調査で 90 点及び 79 点と非常に高い。一方で、「風向・風速」予報の重視度は、郵送・WEB 調査ともに 40 点台、「波浪」では 20 点台に止まった。

なお、「波浪」の重視度は都市によって差があり、内陸及び内湾の都市で低い傾向が見られた。

波浪予報の重視度（都市別の評価点：郵送調査）

那覇市（34.0 点） 小樽市（33.9 点） 新潟市（30.7 点） 青森市（28.2 点） 豊橋市（20.4 点）
福岡市（21.2 点） 千葉市（18.2 点） 堺市（17.9 点） 熊谷市（13.7 点）

「天気」「降水確率」の予報は重視度が非常に高いものの、満足度では「まあ満足」と答えた人がほとんどであり、積極的な満足層が少ない。特に、「降水確率」はその傾向が強い。

時系列予報

重視度は、評価点が郵送・WEB 調査ともに 70 点を超え高いものの、満足度では、「まあ満足」と答えた人がほとんどであり、積極的な満足層が少ない。なお、重視度は、郵送調査で前回 57 点だったものが今回 71 点に、WEB 調査で前回 64 点だったものが今回 76 点にそれぞれ 10 点以上上昇した。平成 16 年 12 月から発表時間を 1 時間繰り上げたことなどから、テレビやインターネット等の様々な媒体で提供されるようになり、広く普及したためと考えられる。

週間予報

「天気」「最高・最低気温」「降水確率」の予報の重視度は、評価点が 72～87 点と高いが、「信頼度情報」は 50 点台に止まった。また、「天気」「降水確率」の予報は重視度が非常に高いものの、満足度では「まあ満足」と答えた人がほとんどであり、積極的な満足層が少ない。なお、「信頼度情報」の重視度は前回調査より 16 点減少した。その原因としては、前回調査では「信頼度情報」の発表開始から 1 年半と日が浅かったこと、前回は情報例を示さなかったため、多くの人が「信頼度情報」についてイメージできないまま回答してしまったことなどが考えられる。

季節予報（1 か月、3 か月、暖・寒候期予報）

重視度については、設問数の関係から今回は調査しなかった。

満足度では、いずれの予報も「まあ満足」と答えた人が最も多かったものの、不満層の割合も多く、評価点は 45～64 点に止まった。特に、WEB 調査では、「3 か月予報」が 47 点、「暖・寒候期予報」が 45 点と 50 点を割り込み、不満足度の方が高かった。

【予報に対して不満に思うこと】

利用者全員に対して各予報の不満点を選択肢から選んでもらったところ、今日・明日・明後日予報では、「予報が外れることがある」「予報が変わることがある」が郵送調査で 60%及び 29%、WEB 調査で 53%及び 37%と多く挙げられた（複数回答のため、全ての選択肢の%合計は 100%以上となる）。この傾向は、他の予報でも同じである。このため、満足度を上げるためには予報精度の向上が最も重要である。特に、重視度が高いのに満足度が低かった以下の予報については改善要求度が高いと考えられることから、予報精度の一層の向上が必要である。

今日・明日・明後日の予報
週間天気予報

【予報に関するその他事項】

天気予報と聞いて何をイメージするか

「天気予報」と聞いて何を思い浮かべるか選択肢から選んでもらったところ、郵送・WEB調査とも1位が「今日・明日・明後日の予報」(郵送 91%、WEB 80%)、2位が「週間天気予報」(郵送 92%、WEB 70%)であった。3位は、郵送調査が「気象予報士」(52%)、WEB調査が「天気図」(65%)であった(複数回答のため、全ての選択肢の%合計は 100%以上となる)。

テレビや新聞による予報内容の違いについて

テレビや新聞によって予報内容の違いがあることを知っている人の割合は、郵送調査で 54%、WEB調査で 85%であった。また、予報を発表した気象会社名を「大いに知りたい」「できれば知りたい」人は、郵送調査で 50%、WEB調査で 80%であった。なお、「知りたくない」と答えた人は、郵送・WEB調査とも 1%未満であった。

【黄砂情報】

「よく利用する」「時々利用する」と答えた人の割合は郵送調査で 49%、WEB調査で 44%に止まった。なお、この割合は都市によって大きな差があり、日本海側の都市で高い傾向が見られた。

黄砂情報の利用率(都市別：郵送調査)

福岡市(65%)、小樽市(58%)、那覇市(56%)、青森市(55%)、新潟市(49%)、堺市(47%)、熊谷市(40%)、千葉市(36%)、豊橋市(30%)

利用しない理由は、「利用する必要がないので」が、郵送調査で 76%、WEB調査で 77%を占めたが、この理由としては、調査期間が黄砂の飛散が少ない12月であったことなどが考えられる。

利用目的は、「洗濯物を干すため」「洗車・洗浄・清掃のため」が圧倒的だが、「病気対策、健康維持のため」も多い。利用者の満足度は評価点で 69~71点と高い。

【紫外線情報】

昨夏(平成17年の夏)に「よく利用した」「時々利用した」人は、郵送調査で 66%、WEB調査で 53%であった。利用しない理由は、「利用する必要がないので」が、郵送調査で 70%、WEB調査で 65%を占めた。利用目的は、「日焼け対策のため」が圧倒的で、次いで「病気対策・健康維持のため」となっている。利用者の満足度は評価点で 73~74点と高い。

(参考) 前回アンケートを実施した平成14年度以降実施した天気予報の改善・充実のための施策

- ・予測手法、数値予報モデル等の改善(継続的)
- ・ひまわり6号の運用開始(H17.6)
- ・黄砂情報の提供開始(H16.1)
- ・紫外線情報の提供開始(H17.5)
- ・気象庁ホームページの充実(アクセス集中対策、JIS規格準拠、電子閲覧室充実等)(継続的)
- ・「レーダー・アメダス解析雨量」と「降水短時間予報」を30分間隔で提供開始(H15.6)
- ・地域時系列予報、天気分布予報の発表時刻を1時間繰り上げ(H16.12)
- ・3か月予報に力学的手法導入(H15.3)
- ・暖・寒候期予報に力学的手法導入(H15.9)